

# 医療保健センターの 外来診療時間の延長は

齋藤 直子 議員

医療保健センター所長 人員配置や超過勤務の問題もあり、直ちに大幅な拡大を行うことは困難ですが、現

行の体制のままでも可能な範囲として、平日午後の診療受付を午後4時まで、実質診療時間午後5時までとし、11月1日より実施したいと考えております。



医療保健センター外来窓口

医療保健センター所長 救急医療にならなくても患者の出口調査でも、平日の夕方、土曜日の午後の診療要望が多く、その必要性を感じています。

多くの民間の医療機関が実施していない時間帯に外来診療を行うのであれば、民間の医療機関の経営圧迫も少ないのでは。

市民生活部長 喜沢の「世界市」前の駐車問題は、警察署員に依頼し、また、市内放送の励行、誘導員の増員、駐車場の確保等の対応策をお願いしてまいります。

また、喜沢通り「世界市」前の駐車問題に対応すべきではないか。



巻き込み防止対策を

市民生活部長 喜沢の「世界市」前の駐車問題は、警察署員に依頼し、また、市内放送の励行、誘導員の増員、駐車場の確保等の対応策をお願いしてまいります。

また、喜沢通り「世界市」前の駐車問題に対応すべきではないか。

# 市民生活に安全を もたらず道路に

中名生 隆 議員

巻き込み事故防止対策につきまして、多くの市民から安全確保の改善依頼をいただいております。

また、喜沢通り「世界市」前の駐車問題に対応すべきではないか。

# 生活保護の適正化を

伊東 秀浩 議員

福祉部長 平成10年度より増加傾向にあり、平成15年4月には1・11%となっています。雇用環境の悪化

平成14年度の生活保護費は21億596万円で、市負担額は5億1000万円となっており、将来的な保護動向の予測を考慮し、財政面について考えるが、生活保護の実施や運営について細心の注意を払うべきと思ふが、市の取り組みは、消ホームレスや第2種社会福祉事業宿所についての対策は、

平成14年度の保護人数は1万3239人で、対前年比延べ1861人の増、扶助費も2億5000万円増加しており、今後とも増加傾向にあると思われま

教育の連続性の効果が期待できる小中一貫校や生徒の自主性を重んじる学校選択制の導入と、教育長が考える今後の戸田市の教育は、

教育期間を限った小中学校教員の相互派遣を研究し、また国際理解教育推進特区をもとに、小中学校の英語活動の関連を推進します。また、一貫校については検討課題といたします。



小中一貫校へは(写真は戸田東小と戸田東中)

市民生活部長 スーパー防犯灯は設置効果も高いことが言われており、本市の犯罪発生率も高いことから、積極的に国・県に要望してまいりたいと考えます。

緊急通報装置と防犯カメラ搭載のスーパー防犯灯と、発光タイロイド式の街路灯を設置しては

生活保護法では、国が生活に困窮するすべての国民に対し、その困窮の程度に応じた必要な保護を行い、その最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長することをめざしている。満長引く不況の影響や、高齢・母子家庭世帯の増加などにより、保護は全国的に増加傾向にあるが、本市における保護の現況は、



今後も増加傾向に(市福祉課窓口)

や高齢化、離婚の増加が主な原因と考えられます。申請を受理すると、訪問調査を含む関係先調査を実施し、国の基準に満たない場合、生活保護の決定となり、15日から30日の間に通知をして

# 小中一貫校・ 学校選択制導入で教育改革を

奥田 実 議員

学校選択制は、平成17年度より中学校を対象に導入し、教育課程の弾力化、指導方法の改善、特色ある学校づくりを推進します。その後、小学校についても検討してまいります。

教育長 習熟度別についてはその効果等、多面的から判断したいと考えます。教科担任制については、期待される成果や課題等を踏まえ、諸条件を確認し、実施に向けて検討してまいります。

市民生活部長 スーパー防犯灯は設置効果も高いことが言われており、本市の犯罪発生率も高いことから、積極的に国・県に要望してまいりたいと考えます。